

指定校番号	30024	学級活動	○ 児童会活動	クラブ活動	学校行事
-------	-------	------	---------	-------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立三次小学校	校長	長手 麻美	生徒指導主事	吉羽 芳晴
-----	-----------	----	-------	--------	-------

**取組事例名** 『花咲山・あんたが大賞』

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「相互理解」	2	「主体性・積極性」	3	「自己肯定感の向上」	1

**取組のねらい** 『キーワード 自己肯定感の向上』

児童会執行部が中心となり、うれしかった言葉や行為を朝会で紹介したり、児童玄関に掲示したりすることを通して自己指導能力を高める。  
また、教師が児童の素晴らしい行動を評価し、掲示することで児童の自己肯定感を高める。

**取組の具体的内容**

『花咲山』

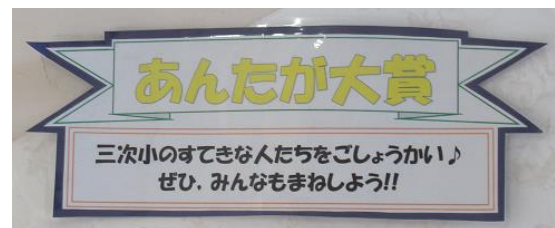
- ①校内に箱を設置し、用紙に、嬉しかったこと、ありがとう  
言いたいことを書いて入れる。
- ②入れてもらった手紙の中から、児童会が朝会で紹介する。



- ③紹介したものを、児童玄関に掲示してある模造紙に貼っていく。

『あんたが大賞』

- ①校内で好ましい行動をしている児童の姿を教師が  
写真に撮る。
- ②『あんたが大賞』という賞状を作成し、掲示する。
- ③1学期間掲示後、その児童に渡したり、教室に掲示したり  
する。



### 取組の課題・創意工夫 『キーワード 機会の増大』

#### 『花咲山』

- 気軽に投書ができ、他学年の児童に対しても「ありがとう。」と気持ちを伝えることができた。  
→自分の知っている人に手紙を贈ることが多いので、知らない人の行動にも目を向けて、より広い見方で手紙を書けたらよかった。

#### 『あんたが大賞』

- 児童に対する肯定的評価の機会を増やすことができ、より多くの児童を取り上げることができた。  
目立たない行動等も取り上げ、児童に周知することができた。  
→教師主体で行っているが、児童会等で児童主体で取り組めるようにシフトしていきたい。

### 取組の成果（効果） 『キーワード 児童の相互評価』

- 児童がお互いの行動に目を向けることで、児童が相互に評価することができた。また、他学年からの手紙があり、何気ない行動を評価してもらえることで、自己肯定感を高めることができた。

また、全校朝会で読まれたときにその児童が注目され、他の児童から称賛されたり、掲示物の前を通りかかった時に、児童が注目することで話題に上がったりすることで、他の児童が読まれた児童の行動をまねていく姿が見られた。

### 今後の展開 『キーワード 明るい学校に向けて』

- 学校の雰囲気をよくすることがとても大切だと考える。  
今後も、よい言葉や行為をクラスや学校で伝えていくことや、名札やスリッパのチェックなど全校で行う取組を設定し、児童相互や教師からほめられること、認められる肯定的評価を増やしていくことで気持ちよく生活できる学校をつくっていきたい。

### 他教科との関わり 『キーワード 学校全体での意識化』

道徳科：内容項目『感謝』『集団生活の充実』『よりよく生きる喜び』等と関連。

導入段階で日常の生活との関連を取り上げるとともに、授業後に道徳科で学んだことを実践できるように意識した指導を行う。



教師も普段から児童の望ましい姿を意識して、指導できる。  
学校生活全体を通して、道徳的指導を意識的に行える。